



SEIKEI
INSTITUTE FOR
INTERNATIONAL
STUDIES

SIIS

成蹊学園 国際教育センター

Vol.
27

NEWS

2018.4



大学生の留学



留学期間が半年から1年（最長2年）となる中・長期留学、夏期休暇や春期休暇中に参加する短期留学など、大学生の留学スタイルはさまざま。大学の留学制度を使えば、留学期間を修業年限に含めることができるほか、学内の留学奨学金が充実しているので、時間的にも経済的にも負担が少ないばかりか、就職活動や卒業後のキャリア形成においても大学在学中に留学するメリットはたくさんあります。入学直後からしっかりプランを立てて留学準備をしましょう。

STEP 1

留学先での1日はどんな感じなのかイメージしてみよう。

留学中の（留学した）先輩に留学中のとある1日の様子を聞いてみました。授業後や週末の自由時間も有効に使って、充実した留学生活を送っていますね。

長期協定留学

語学習得＋異文化交流

福島 多慧子さん（文学部）

留学先：チェンマイ大学（タイ）

留学期間：2017年8月～

2018年5月（予定）



タイでは課題や宿題が大量に課されることもなく、のんびりと自分のペースで勉強できます。また卒論に向けてのアンケート調査や、ガイドブック作成などの個人の活動に励むこともできます。休日はタイの友人に誘われて少し遠くへ遊びに行ったり、一人でカフェ巡りやマッサージ屋さんへ行ってリフレッシュしています。チェンマイは電車がないので、移動は乗り合いタクシーやUberなどを使います。行き先を伝える、値段交渉する、などお出かけしている間もタイ語の勉強になります！

8:00 起床

大学の裏門から徒歩5分以内のアパートに住んでいます。2人でも住める部屋に1人で住んでいるため、広々とした部屋です。

9:00 通学

大学の門までは徒歩5分。門に沿って屋台が並んでいるので、朝食は豚の串焼きやもち米などを買って食べます。チェンマイ大学のキャンパスはとても広大なので、キャンパス内は無料巡回バスで移動します。

9:30 授業

タイ語の授業と日泰翻訳の授業を受けます。1つの授業は成蹊大学と同じく90分間です。タイ語の授業は、タイ人の先生による授業なので聞き取りに苦労しています。翻訳の授業は日本語学科のタイ人学生も履修していて、日本とタイの学生が互いに助け合いながら翻訳を進めていきます。



12:30 昼食

学部毎に食堂があり、数あるタイ料理のお店からその日に食べたいものを選ぶことができるフードコート形式。大体100円以下でお腹がいっぱいになるくらい食べられます。なかには、クレープやアイス、ジュースなどを売っているお店もあります。

13:00 授業

午後は日本史とツアーの授業。日本史は日本語学科の授業ですが、言語はタイ語なのでなかなか大変。日本人代表としてさまざまな質問に答えなくてはならず気が抜けません。ツアーの授業では、ガイドになるための勉強をします。実際にチェンマイを案内する実習があるので、それに向けて言葉遣いやチェンマイの歴史などを勉強します。

16:30 おやつ

タイ人の学生と大学近くのカフェでスイーツを食べます。タイの学生は皆、甘いものが好きで、おすすめのお店に案内してくれます。

18:00 帰宅

19:00 夕食

大学の門に沿って並んでいる屋台で買います。パッタイ、カオマンガイなどのタイ料理のほか、スムージーやロティーといったスイーツもあります。どれも大体100円以下で買うことができるうえ、さまざまな屋台があるため飽きることはありません。屋台で食べたり、持ち帰って同じアパートに住む日本人留学生の友人と部屋で食べたりしています。



20:00

食後も友人とおしゃべりをしたり、宿題を教え合ったりしています。彼らはチェンマイ大学でタイ語を専門に学んでいるので、タイ語が上手く、タイについても詳しいので話していて勉強になります。

0:30 就寝

長期協定留学

専門科目+インターンシッププログラム

田香 勇輝さん (経済学部)
 留学先: アメリカン大学 (アメリカ)
 留学期間: 2017年8月~2018年5月 (予定)



長期協定留学

語学習得+余暇を利用したのインターンシップ体験

稲 拓哉さん (経済学部)
 留学先: ボン大学 (ドイツ)
 留学期間: 2017年3月~2018年2月



ワシントン DC の様々な企業や政府機関、NGO を訪れて、職員の方からお話を聞くという授業は、自分自身の視野や可能性を大きく広げることのできる素晴らしい機会だと思います。自身の1日を改めて棚卸しをしてみて、大学ではアカデミックな英語に触れ、インターンシップでは英語で基本的な業務を行う経験ができるので、ワシントンセメスタープログラムは本当にいいプログラムだと感じています。

留学中は「現地の人と会う」ことを一番大切に過ごしました。勉強はもちろん大事ですが、人と会える時は人に会うようにして、コミュニケーションをとる機会を作るよう心がけました。留学終盤、新たなことをやってみようという気持ちで始めたインターンシップも、友人と出かける機会は減りましたが、実際にドイツで働いている人に関わることが増えたので、大きな意味があったように思います。留学やインターンシップの経験を通して、やはり一番大事なのは面倒くさがらずに様々な人と深く関わってみるといことだと思いました。

7:30 起床

寝起きはいい方ではないので、時々朝食を食べられないこともあります。



8:30 出発

寮からインターンシップ先までバスで30分程かかります。

9:30 インターンシップ開始

上司と一日のタスクを確認。または会議に参加し、全体の流れを確認します。英語のリスニング力に難があるため、音声を録音し、わからないところは何度も確認します。

13:00 昼休み

好きな時間帯に昼休みを取れます。今日のタスクを終わらせることの方が重要で、どのくらい休憩したかは、個人の自由のような風潮があります。

14:00 仕事再開

インターンシップが始まったばかりなので、わからないところや仕事内容を上司に確認しながら仕事を進めています。特に、お客さんへの電話は本当に緊張します。日本語だと余裕なことも英語での対応は難しく感じます。幸い、同僚や上司は優しく、人間関係の悩みはありません。他のインターンシップに比べて若干忙しくも充実しています。



17:30 インターンシップ終了

一日の仕事の進捗状況を上司に報告し、帰宅します。

18:20 夕食

インターンシップ先からそのまま大学に向かって、学内の食堂で夕食。

19:00 図書館

食後は、図書館で次の日の授業の準備や宿題、他のやらなければならないことに取り組みます。

22:00 帰宅

宿題の量によって時間は異なりますが、寮に戻ります。図書館からは徒歩5分程です。

0:00 就寝

6:00 起床

どんなに遅く寝ても6時には起きるように心がけていました。早起きすると、その日一日やるべきことがスムーズにできます。

6:30 出発

身支度して出かけます。朝食はバナナだけのことが多いです。

7:00 カフェに到着

ドイツ語の試験勉強のほか、ドイツ語の記事を翻訳、日本の小説のドイツ語版を読むなど。単語・読書は移動中など短い時間が空いた時に繰り返すのが効果的な勉強法だと思います。快適に勉強できる場所を自分なりに見つけるのはとても大事です。

午前 授業

主にドイツ語のテキストに従って、読む、書く、話す、聴くトレーニングですが、自分の意見を述べる機会が非常に多いことが印象的でした。世界のさまざまな国や地域からの留学生の積極的な姿勢は目の当たりにし、語学力の有無に関わらず、自分の意見を持たない、発信しないということは語学を学ぶ上で最も妨げになると感じました。



午後 インターンシップ

Bundesliga の各クラブのHPやTwitter、Facebookの翻訳、動画やグラフィックの編集、ドイツ語の動画の日本語字幕、クラブの記者会見出席など幅広く携わりました。自分の好きな分野で、楽しく働くことができました。

19:00 帰宅・夕食

スーパーで食材などを買い物しながら帰宅。大学周辺は店も多く、必要な物はたいていそろえることができます。

23:00 勉強

インターンシップで分からなかった単語や自分が訳した記事を復習したり、知らなかった表現などを徹底的に見直し、ノートに書き出します。ドイツ語のドラマを観るのが唯一の息抜き。リスニングのトレーニングも兼ねています。



0:00 就寝

夜中にドラマを観続けてしまい、就寝時間が1時、2時になることも。

認定留学

語学習得+
専門科目

木村 薫さん (文学部)

留学先: **レディング大学 (イギリス)**

留学期間: 2017年4月~

2017年12月



学内イベントが充実していて、ジブリの映画鑑賞会やクラブなどが頻繁に行われています。映画のお供はピザだったり、思わぬところで意外な反応をする現地の学生がいて、一種の異文化体験をすることができました。休日はダウンタウンまで買い物や食事に出かけたり、少し足を延ばしてロンドンやオックスフォードを日帰りで観光しました。アクセスがよいのでウェールズまで行くのも苦ではありません。

6:30 起床

寮は大学のメインキャンパスから10分程の同じ敷地内にあります。建物自体は最近建てられたので寒い日でも室内はシャツ一枚で過ごせます。留学生も現地の学生と一緒にフラットに住みます。

7:00 朝食

自炊の寮なので、キッチンでトーストを焼いておいしいジャムを塗って食べるのが一日の始まり。イギリスではスコーンが手に入りやすく、クロテットクリームやジャムと一緒に食べることもありました。

7:30 朝勉強

イギリス人は夜型なので朝早く起きると非常に静かな環境で勉強ができ、効率が良いです。たいていの場合は、課題や予習に充てていました。

8:50 通学

寮から大学までの通学途中に湖があり、毎日のように白鳥の親子やリスなどに出会うことができます。



9:00 授業

17世紀のイギリス史に関する授業。授業のはじめにその日のプレゼンテーション担当者が発表します。その後は教授による時代背景の解説とグループディスカッション中心になります。事前に指定された文献や資料を読んでおかないとディスカッションについていくことができません。

11:00 自習

授業の復習や次回の授業へ向けた課題図書を図書館や空きスペースで読みます。

12:30 昼食

キャンパス内にあるカフェテリアで友達と食べます。ブリトーなどのエスニック料理が多くあり、学生証で支払うこともできます。

14:00 サークル

バレエソサエティに参加。2クラスのレッスンを受けます。パフォーマンスやコンクールへ向けた練習もあります。



17:00 帰宅

18:00 夕食

昼食の量が多いので、夕食は軽めにとります。学内のアジアンフード系のスーパーで日本の食材が売っているので、夕食は和食が多いです。

19:00 自由時間

主に課題をする時間にしていますが、気分転換に洗濯をしに外出することもあります。

23:30 就寝

中期協定留学

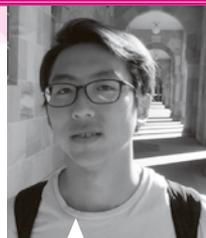
語学習得+
インターンシップ
プログラム

西村 完一さん (理工学部)

留学先: **クイーンズランド大学 (オーストラリア)**

留学期間: 2017年8月~

2018年3月



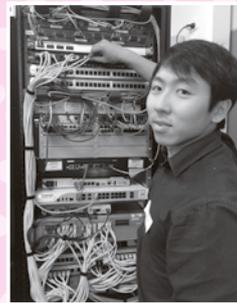
インターンシップではITサポートとして、PCのメンテナンスのため出向することもありました。オーストラリアは日本の生活と違い、時間がゆっくりと流れているように感じます。遅くまでやっている店も少ないため、仕事が終わるとさっさと帰宅し、早く寝ます。どちらの生活が合うのかは人それぞれだと思いますが、現地の生活に合わせてみると感覚が変わってきたりして面白いです。

6:00 起床

朝食は目玉焼きか昨日の夕食の残りをいただきました。主食となるシリアルやパンはお腹にたまらないので慣れるまで大変でした。

7:00 通学

ホームステイ先からはGoCardという交通カードを使ってバスに乗ります。Good Day!と運転手に元気よく挨拶するのがマナーです。



8:15 授業

1クラス15名くらいの中規模クラスで英語の授業です。

10:15 Morning Tea

オーストラリアにはMorning Teaという慣習があり、30分間の休憩時間におやつなどを食べます。

10:45 2コマ目

1コマ目の続きです。

12:45 昼食

校内には電子レンジやレストランなどがあり、気分によって自由に食べます。僕は湖のほとりで食べるのが好きです。野生の動物が食べ物に常に狙ってくるので要注意です。

13:00 図書館

宿題をやります。Wi-Fiや電源、エアコンを完備しているので勉強には最適です。たまに大学の庭で宿題したりもします。

17:00 帰宅 犬と散歩

ホストファミリーの犬と近所を散歩。自然が多く、犬も喜んで走り回ります。



19:00 夕食

ホストマザーは大の料理好き。特にアジア系の料理が多かったです。ホストファミリーとの関係も良好で、問題なく過ごせました。

21:00 就寝

街灯以外の消灯が早いです。

STEP 2 留学準備をしよう。

「海外留学ガイド2018」や各種説明会で情報収集しよう!

成蹊大学の留学制度や手続き、奨学金に関する情報を掲載しています。ガイドは国際教育センター国際課（1号館2階）で入手できます。前期は4月～5月頃、後期は9月～10月頃に各種留学プログラムや語学、国際交流に関する説明会を多数開催しています。HPや掲示板等でスケジュールを確認してご参加ください。



カウンセリングで留学相談!

●国際教育センターには国際交流担当教員がいます。留学プログラムや語学勉強のコツなどを個別に相談できるほか、Speaking対策やWritingの添削指導を受けることができます。ぜひ活用してください。



●JSAFプログラムにおける大学選定やプログラム費用などについて、留学カウンセラーに個別に相談することができます。事前予約制です。



原則、月曜2限の1セッション15分（Writing添削は30分程度）。
国際教育センター国際課（1号館2階）で予約してください。

電話 03-5287-2941 もしくはメール
info@japanstudyabroad.orgにてお申込みください。

語学試験を受けよう!

留学の出願や学内の留学奨学金の申請のために、IELTSやTOEFL ITPなどの語学試験を受験しよう。これらの語学試験は学内でも実施しています。また、スコアアップを目指す学生を対象としたIELTSセミナーや対策講座も多数実施しています。ほかにも、ポータルサイトの「スーパー英語」での学修、大学情報図書館4階にあるヘッドフォン備付PCを利用してのリスニング練習や映画鑑賞、2階の多読コーナーもぜひ活用してみてください。



留学生と交流してモチベーションを上げよう!

留学生と英語でおしゃべりするEnglish Chat Timeや国際交流バスツアーなども多数開催しています。留学生との交流を通じて、海外の学生の様子や留学先の情報を収集することもできます。国際教育センター資料閲覧室はWi-Fi完備、英語のマンガ、留学や旅行に関する雑誌なども設置していて、情報交換や交流の場として利用できます。予約不要です。ぜひ活用してください。



2018年度前期受入れ 協定留学生紹介



海外8つの協定校より11名の協定留学生を受入れました。

オーストラリア
マドック大学

リアム アンソニー ヴィンセンティ
グリフィス大学

アンジェラ ライ
サレイ エリザベス クック
トーマス カーロス ネメンゾ

モナシュ大学
アニル ケン

中国
上海交通大学
フ ゲン

アメリカ合衆国

ウェスタンワシントン大学
コーラル ローズ サヴィル
セーラ ヘレン ロバン ディーン

カナダ

ビクトリア大学
ジョアン ヘジヨ ジャン

韓国

高麗大学

ウォン ジョン

梨花女子大学

ジョン ユ リム